

田原本町教育大綱（案）

令和7年●月改訂版

パブリックコメント用素案

趣旨及び位置づけ

地域全体で目指す教育の姿をまとめたもの。子どもたちの成長を支える指針となり、教育に関する様々な施策の根拠となります。

計画期間

令和7年度から令和11年度までの5年間とします。なお、必要に応じて見直します。

町長メッセージ

教育は誰のためにあるのかと問うたときに、それは、全ての住民の皆さんのためであり、特に子どもたちのためであります。

子どもたちのための教育を中核とした本大綱の基本理念に掲げる「This is Me!」は、「これが自分だ」と自分を肯定する言葉であり、今あるそのままの自分を肯定することこそが、更なる成長や幸福度の向上に繋がるものと確信しています。

そして、我々大人の役割は、子どもたちに大人の夢を押し付けるのではなく、子どもたちの今ある姿を肯定し、あるいは子どもたちが描く夢を応援することではないでしょうか。子どもたちもそれを強く望んでいます。

本大綱には抽象的なことしか記述されていません。それらの抽象的な記述を実現するために私も全力で取り組んでまいります。具体的な教育は各学校の先生方や地域の皆さんの実践によってのみ表現されるものであります。全ての関係者の皆さんが、本大綱を「自分ごと」として捉え、実践いただけることを大いに期待します。

田原本町長（自 筆）



子どもたちの想い

小学校6年生と中学校3年生を対象に、5つの質問について意見をいただきました。

- ① どのような大人になりたい？
→人の役に立つ大人。自分に自信が持てる大人。
- ② そのために何を大切にしていきたい？
→いろんなことにチャレンジしたい。あきらめずに取り組むこと。
- ③ こんな先生がいてほしいな！
→元気で楽しい先生。自分の話や悩みを聞いてくれる先生。
- ④ どのような学校がいい！
→仲良く安心して過ごせる学校。笑いの多い楽しい学校。
- ⑤ こんな家族がいいな！
→自分のやりたいことを応援してくれる家族。元気で明るい家族。



北中学校での授業の様子



先生たちの想い

子どもたちと日々接している学校の先生にも、一緒に考えていただきました。

- ① 今の子どもたちは？
→いろいろなことをまじめにコツコツと学ぶ力があっても、自分を表現したり、自分の考えを積極的に述べたりすることが苦手な子どもが多い。
- ② 子どもたちにどのような力を育ててほしい？
→自分も他者も認め合えること。主体性、コミュニケーション力、粘り強さ、しなやかさ、チャレンジ精神などをもっと育てたい。主体的・協働的に学び合える力をつけてほしい。
- ③ どのような教育をしたい？
→「主体的で対話的で深い学び」を目指した教育に視点を置き、子どもたちに「できる」「わかった」「楽しい」と思わせる授業をして、体験活動や経験をたくさんさせてあげたい。



東小学校での授業の様子

基本理念

This is Me ! 〈これが自分だ〉

～誰もが自分らしく生きるために、自分を大切にそして周りの人たちも大切に～

基本方針

自己肯定感・自己効力感を高める教育

『自分にもできる』という気持ちを持って、何ごとにも積極的にチャレンジしようとする力を育てる教育。『自分はこんなこともできるのだ』と気づかせる教育。

多様性を尊重する教育

『みんなちがって、みんないいね！』を大切にする教育。違いを認め合い、周りの人とつながる力を育む教育。急激なグローバル化が進む中、異文化共生社会に対応できる力を育む教育。

目指す方向性

自ら考え、力を合わせる



自分で考え、自ら行動することは大切だが、1人の力には限界がある。周りの人と力を合わせ、そこから生まれる無限の力をいかそう。

だれもが学びやすい環境をつくる



みんなが、楽しく学べること。そのために自分をよく知り、友だちのことでもよく知って、お互いの気持ちを大切にしよう。
仲間と協力し、誰もが安心して楽しく過ごせると思える場所をつくろう。

未来を創る力を育む



「なぜ。どうして。」という疑問にチャレンジしようとする気持ちを持ち、解決できたことに喜びと楽しさを感じよう。そして、その気持ちを明るい未来につなげよう。

成長を応援し、ともに育む 家庭や地域

やりたいことを
応援してくれる



あたたかく
見守って
くれる

園・学校・家庭はもちろん、いつでもどこでも学ぶことができ、地域ぐるみで安心して子どもを育てられる町にしよう。
すべての家庭が心のよりどころとしてのあたたかい家庭になるよう地域で見守り、応援しよう。

学びを支え、ともに成長する 学校や園

笑いが多く、
夢中になれる



安心して
過ごせる

周りの人と力を合わせることで生まれるエネルギーに「すごい」と感じられる学校・園にしよう。
常に先生と子どもたちが学び合い、お互いが成長し続ける学校・園にしよう。